

026吉修第303号

毛呂川水管橋塗替塗裝修繕工事

数量計算書

埼玉県吉見浄水場

026吉修第303号 毛呂川水管橋塗替塗裝修繕工事

(入間郡毛呂山町大字岩井地内)

数量総括表

[illegible]

数量計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
水管橋塗装工			
水管橋塗装工(本体部)			
清掃・水洗い	時間的制約なし $A = 131.59 = 131.59 \text{ m}^2$	131.59	m2
素地調整	水性塗膜剥離剤及び4種ケレン、時間的制約なし $A = 131.59 = 131.59 \text{ m}^2$	131.59	m2
塗膜剥離剤使用量 1㎡あたり	標準使用量 ロス率割増 $W = 0.5 \times 1.15 = 0.575 \text{ kg}$		
下塗	有機シンクリッチ(1層目)、弱溶剤形変性エポキシ(2～3層目)、時間的制約なし $A = 131.59 = 131.59 \text{ m}^2$	131.59	m2
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂、時間的制約なし、濃彩 $A = 131.59 = 131.59 \text{ m}^2$	131.59	m2
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂、時間的制約なし、濃彩 $A = 131.59 = 131.59 \text{ m}^2$	131.59	m2
水管橋塗装工 (伸縮可とう管部)			
清掃・水洗い	時間的制約なし $A = 0.64 = 0.64 \text{ m}^2$	0.64	m2
素地調整	塗膜除去(水性塗膜剥離剤使用)3回及び4種ケレン、時間的制約なし $A = 0.64 = 0.64 \text{ m}^2$	0.64	m2
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂、時間的制約なし、淡彩 $A = 0.64 = 0.64 \text{ m}^2$	0.64	m2
仮設工			
足場工			
主体足場	トラス・アーチ、設置・撤去・賃料		
	全幅 橋長 $A = \quad \times \quad = \quad \text{m}^2$		m2
供用月数	土木工事積算要領(維持管理編)より $T = \quad + \quad \times \quad = \quad \text{月}$		

数量計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
側面塗装足場	$A = \frac{\text{トラス全高} \times \text{橋長}}{2} \times 2 = \text{m}^2$		m2
供用月数	$T = \text{主体足場に同じ} = \text{月}$		
防護工			
シート張防護	設置・撤去・賃料、両面朝顔		
	$A = \text{主体足場に同じ} = \text{m}^2$		m2
供用月数	$T = \text{足場工に同じ} = \text{月}$		
シート張防護(側面)	$A = \text{側面塗装足場に同じ} = \text{m}^2$		m2
供用月数	$T = \text{足場工に同じ} = \text{月}$		
処分工			
廃棄物処分			
産業廃棄物処分	中間処理、廃プラスチック		
	$V = \left(\frac{\text{塗膜剥離面積}}{\text{比重}} + \frac{\text{既存塗膜付着量}}{\text{比重}} \right) \times \text{剥離剤塗布量} = \text{m}^3$		
	※想定		
産業廃棄物運搬	収集運搬、2t・3tダンプ車、片道距離概ね25km		
	見込み		
	$N = \text{回}$	1	式

数量計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
交通誘導警備員			
交通誘導警備員			
交通誘導警備員B			
【所要日数計算】	仮設工設置撤去時の仮設材積込み・取卸しを想定し、1日当たり半日を見込む		
主体足場	主体足場の歩掛係数より $N = \text{ } + \text{ } \times \text{ } = \text{ } \text{ 日}$		
側面塗装足場	側面塗装足場の歩掛係数より $N = \text{ } \times \text{ } = \text{ } \text{ 日}$		
シート張防護	シート張防護の歩掛係数より $N = \text{ } + \text{ } \times \text{ } = \text{ } \text{ 日}$		
シート張防護(側面)	シート張防護(側面)の歩掛係数より $N = \text{ } + \text{ } \times \text{ } = \text{ } \text{ 日}$		
合計			
	半日に改め		
	繰り上げ		
	所要日数 1日あたり配置人数		
	$\times \text{ } = \text{ } \text{ 人}$	1	式
共通仮設費(積分)			
準備費			
産業廃棄物分析 (溶出試験)		1	式
	溶出液作成	1 検体	
	溶出試験(鉛)	1 検体	
	溶出試験(六価クロム)	1 検体	

塗装面積集計表			
名 称	計 算 式	数 量	単位
本管部			
[本体部合計]	(3水二第406-3号 岩井その3工区水管橋製作架設工事設計書より) 131.59 m2	131.59	m2
伸縮可とう管			
伸縮可とう管	$\phi \quad m(\text{想定}) \quad \text{両側} \quad \text{両岸}$ $0.508 \quad \times \quad \pi \quad \times \quad 0.1 \quad \times \quad 2 \quad \times \quad 2 \quad = \quad 0.64 \quad m2$	0.64	m2